

ベビー&amp;チャイルドシート

# クルリラ

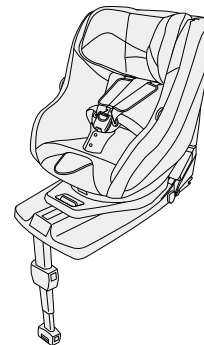
## Cururila

### 取扱説明書／保証書

体重**2.5kgから18kgまで**のお子さま用です。  
本装置は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて  
認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを  
装備した車及びISOFIXバーを装備した車に使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**  
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。  
**製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。**  
本書のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

UN ECE-R44／04適合  
準汎用型グループ0+、グループ1、2.5kgから18kgまで。



ご使用前に〈P2〉

取り付ける前に〈P24〉

車への取り付け〈P36〉  
お子さまの乗せ降ろし〈P54〉

お手入れ〈P60〉

### アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13  
お客様サポートセンター TEL 0120-415-814  
携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

#### 〈お願い〉

- ・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)	9
座席の条件(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)	11
座席の条件(ISOFIX使用)	13
シートベルトの条件(シートベルト使用)	17
ご使用上の注意	19
日常の点検	23

取り付ける前に

レッグサポートの使いかた	24
リクライニングのしかた	25
シート部の回転のしかた	27
シートバックカバーの使いかた	29
パッドの使いかた	30
フレックスシェードの使いかた	33

車への取り付け

取り付け準備	36
取り付けかた(ISOFIX使用)	38

車への取り付け

取り付け後の確認(ISOFIX使用)	42
車からの取り外しかた(ISOFIX使用)	43
取り付けかた(シートベルト使用)	45
取り付け後の確認(シートベルト使用)	52
車からの取り外しかた(シートベルト使用)	53

お子さまの乗せ降ろし

肩ハーネス位置の目安	54
肩ハーネスの位置調節のしかた	55
お子さまの乗せかた	56
お子さまの降ろしかた	59

お手入れ・その他

シートカバーの取り外しかた	60
シートカバーの取り付けかた	62
お手入れ／保管／廃棄のしかた	63
取り付け可能車種一覧表	64
困ったときには	65
保証について	67
アフターサービスについての連絡先	68
MEMO	69
保証書	70

チャイルドシートについて

・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際にお子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。

・日本国内及び、UN ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。

・本書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。




〈中古品のご使用について〉

・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。

・クラック(ひび割れ)や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

本書の表示について

・「**危険**」、「**警告**」、「**注意**」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。


表 示	表 示 の 内 容
 <b>危険</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス


・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。

・長距離を走る場合は、1時間程度を目安に休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。

・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。



製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

# 取り付ける手順

・必ずお読みください。

ご使用前に

P2～P10

車の座席、  
シートベルトを確認

P11～P18

ご使用上の注意

P19～P22

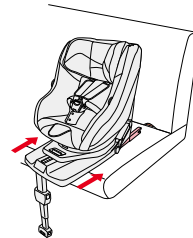
取り付ける前に

P24～P37

ISOFIXによる取り付け

P38～P44

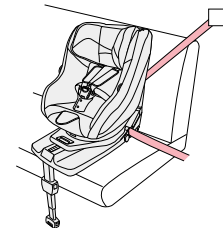
- ・ 取り付けかた (ISOFIX使用)
- ・ 取り付け後の確認 (ISOFIX使用)
- ・ 車からの取り外しかた (ISOFIX使用)



シートベルトによる取り付け

P45～P53

- ・ 取り付けかた (シートベルト使用)
- ・ 取り付け後の確認 (シートベルト使用)
- ・ 車からの取り外しかた (シートベルト使用)



お子さまの乗せ降ろし

P54～P59

- ・ 肩ハーネス位置の目安
- ・ 肩ハーネスの位置調節のしかた
- ・ お子さまの乗せかた
- ・ お子さまの降ろしかた

日常の点検

P23

ご使用前に

# 各部のなまえ

## 梱包内容

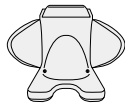
・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

### 〈パッド/カバー〉

(P29～P32参照)・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。



ヘッドサポートクッション  
(使いかたはP30参照)



ベビーサポートクッション  
(使いかたはP30参照)



ヒップインナーシート  
(使いかたはP30参照)

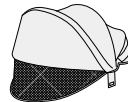


シートバックカバー  
(使いかたはP29参照)



肩パッドカバー  
(使いかたはP30参照)

### 〈付属品〉



フレックスシールド  
(使いかたはP33参照)



フィットスペーサー  
(使いかたはP51参照)



ガイドキャップ(2個)  
(使いかたはP38参照)

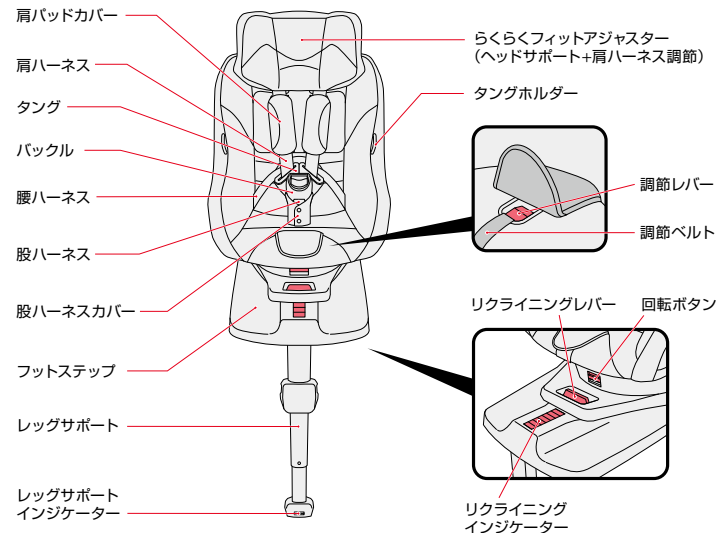


取扱説明書(本書)

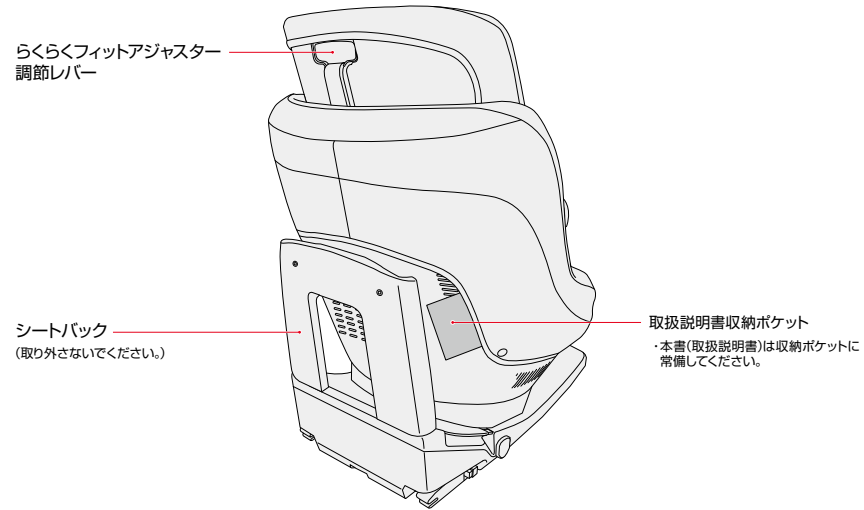
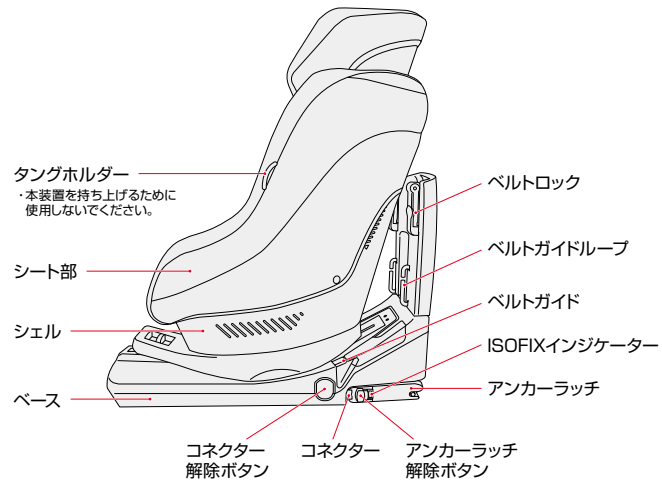
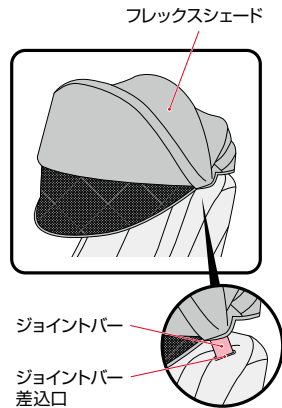
### 〈重要〉ご使用前に、お客様情報登録のお願い

弊社では、万一お買い上げいただいた製品に問題があることが判明してリコールを実施する場合に、直接その内容をお知らせするために、お客様登録システムを導入しております。  
安心してチャイルドシートをご使用いただくために、お買い上げ日より一か月以内に必ず登録をお願い致します。

弊社ホームページ <http://www.aprica.jp/>



## 各部のなまえ



# お子さまの条件(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
- ・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。



**危険**

・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

**体重2.5kg～7kg未満**

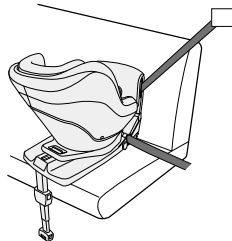
参考年齢：新生児～4カ月頃まで  
参考身長：50～60cm

後向き

進行方向に対して後向き

〈パッド類〉(使いかたはP30参照)

- ・ヘッドサポートクッション必要
- ・ベビーサポートクッション必要
- ・ヒップインナーシート必要
- ・肩パッドカバー必要
- ・シートバックカバー必要
- ・全てのリクライニング角度が使用可能



**警告**

・お子さまの体重が9kgを超えるまでは後向きで使用する。思わぬ重傷を負う可能性があります。

**体重7kg～13kg未満**

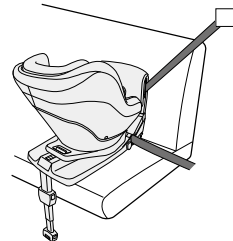
参考年齢：4カ月頃～1歳6カ月頃まで  
参考身長：60～80cm

後向き

進行方向に対して後向き

〈パッド類〉(使いかたはP30参照)

- ・ヘッドサポートクッション使用不可
- ・ベビーサポートクッション使用不可
- ・ヒップインナーシート取り外し可  
(※体重10kg以上は使用不可)
- ・肩パッドカバー必要
- ・シートバックカバー必要
- ・全てのリクライニング角度が使用可能



**警告**

・お子さまの体重が9kgを超えるまでは後向きで使用する。思わぬ重傷を負う可能性があります。

**体重9kg～18kgまで**

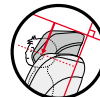
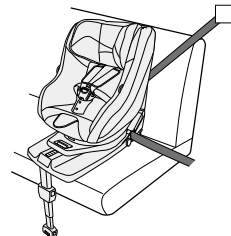
参考年齢：1歳頃～4歳頃まで  
参考身長：70～100cm

前向き

進行方向に対して前向き

〈パッド類〉(使いかたはP30参照)

- ・ヘッドサポートクッション使用不可
- ・ベビーサポートクッション使用不可
- ・ヒップインナーシート使用不可
- ・肩パッドカバー必要
- ・シートバックカバー必要
- ・全てのリクライニング角度が使用可能
- ・お子さまを座らせた時、耳の上端部が本体の上端部より下になること。



**警告**

・お子さまの体重が9kg未満の場合は前向きで使用しない。思わぬ重傷を負う可能性があります。

## 座席の条件(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)

### 〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。
- ・ただし、フロントエアバッグが装備された座席に後向きで取り付けできません。

### 〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

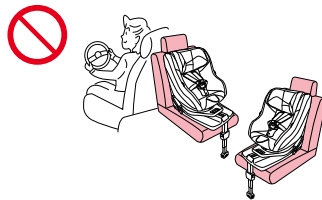
- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
- ・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

### 〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

- ・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストがチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉する座席。



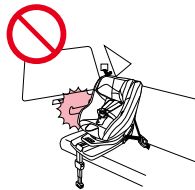
- ・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



- ・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



- ・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



### 〈取り付けできない座席〉・座席の形状

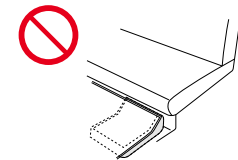
- ・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)
- ・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



- ・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。
- ・レッグサポートを一番短くしても座面に極端な隙間ができる座席。



- ・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スベアタイヤの収納スペースなどがある座席。



- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。  
(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



# 座席の条件 (ISOFIX使用)

## 〈ISOFIXを使用時の注意点〉

### 適用範囲 体重グループと取り付けの規定

取り付け方法	グループ	体重	参考身長	取り付け方法	グループ	体重	参考身長
ISOFIX 後向き	0+	2.5-13kg	50cm位～80cm位	3点式安全ベルト、後向き	0+	2.5-13kg	50cm位～80cm位
ISOFIX 前向き	1	9-18kg	70cm位～100cm位	3点式安全ベルト、前向き	1	9-18kg	70cm位～100cm位

チャイルドシートは、体重2.5kgから18kg まで、またUN ECE-R44/04 基準により認定されたグループ0+とグループ1 に適しており、お子さまを守るために異なったグループの必要に応じて2つの取り付け方法ができるようになっております。

### ISOFIX で取り付けの場合

1. チャイルドシートと取り付け具のカテゴリーに応じて認可されたISOFIX 位置(詳しくは車両ハンドブックを参照)を有する車両に適合します。
2. 本装置は後向きでは体重グループ0+、ISOFIXサイズ等級の「D」となります。
3. 本装置は前向きでは体重グループ1、ISOFIX サイズ等級の「B1」となります。

### 自動車への取り付け時の注意

#### ・ISOFIX を使用しての取り付け

UN ECE-R44/04 基準により認定されたISOFIXを使用してチャイルドシートを取り付けることができます。ISOFIXを使用してチャイルドシートを取り付ける場合は、車のシートにISOFIXバーが付いていることをご確認ください。なお車の取扱説明書で本装置が取り付け可能なサイズ等級に当たるかを確認し、ご使用ください。また本装置は「準汎用」カテゴリに分類されています。お車が取付け可能かどうかを取り付け一覧表などでご確認ください。

後向きに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級はDです。



前向きに取り付け時、この装置が該当するISOFIXサイズ等級はB1です。



#### ・取り付け可能な座席

ISOFIX を使用しての取り付け：「自動車への取り付け時の注意」を確認のうえ、以下の座席条件もご確認ください。

取り付け方法	座席条件	使用
前向き・後向き 共通	前座席：エアバッグを装備していない	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	前座席：エアバッグを装備している	使用できません
	前座席：エアバッグのON/OFFが可能でON(作動状態)にしている ※	使用できません
	車の進行方向に対し横向きの座席	使用できません
	車の進行方向に対し後向きの座席	使用できません
	後部座席の両側	取り付け条件が満たされれば取り付けできます
	後部座席の真ん中	取り付け条件が満たされれば取り付けできます

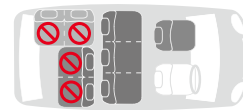
※エアバッグの ON/OFF については、車の取扱説明書、または、自動車メーカーにお問い合わせください。



チャイルドシートのご使用および適合性については車の取扱説明書をよくお読みください。



：このマークのある座席には取り付けしないでください。



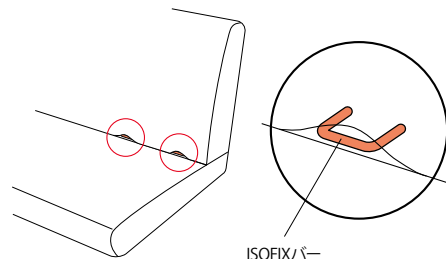


## 座席の条件(ISOFIX使用)

1. チャイルドシートを取り付ける座席にISOFIXバーが装備されているかご確認ください。(図1)
2. お車の取扱説明書で以下をご確認ください。
  - ・後向き(体重2.5kgから13kg未満)使用時:サイズ等級「D」、「C」が使用不可でないこと。
  - ・前向き(体重9kgから18kgまで)使用時:サイズ等級「B1」、「A」が使用不可でないこと。

### ・ISOFIXバーについて

ISOFIXバーとは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



(図1)

本装置はISOFIX幼児拘束装置です。ISOFIXバーを装備した車両で一般的に使用するものとして、UN ECE-R44/04に基づいて許可を受けています。

**ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席のある自動車に取り付けることができます。**  
ただし、ISOFIXチャイルドシートは、ISOFIXバーを装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。  
ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXチャイルドシートに対応しているか確認してください。

車種適合につきましては、アプリカホームページ「<http://www.Aprica.jp/>」で最新版をご覧ください。

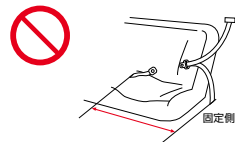


お子さまの体重	質量グループ	カテゴリー	取り付け可能なサイズ等級	固定具
2.5kgから13kg未満	0+	準汎用型 (セミユニバーサル)	D	ISO/R2
			C	ISO/R3
9kg以上から18kgまで	1	準汎用型 (セミユニバーサル)	B1	ISO/F2X
			A	ISO/F3

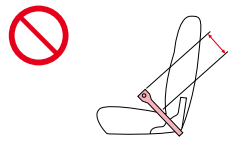
# シートベルトの条件(シートベルト使用)

## 〈取り付けできない座席〉

・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。



・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)



・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



・2点式シートベルトの座席。



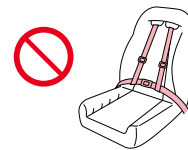
・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。



・パッシブシートベルトの座席。  
(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)



・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。

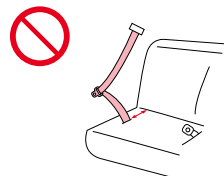


## 〈シートベルトの条件〉

・本装置は、UN ECE-R16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特 徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かない機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



・シートベルトの条件についてご不明の場合は、弊社お客様サポートセンターにお問い合わせください。

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間: AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

## ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重2.5kg未満及び18kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フロントエアバッグを装備した座席に本装置を後向きに取り付けない。エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



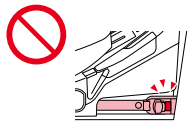
・チャイルドシートが確実に固定できない座席、チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに「ゆるみ」がある場合は使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・ISOFIXインジケーターが赤色の状態で使用しない。(ISOFIX使用の場合) 衝突の際に充分性能が発揮できません。



・回転ロックが掛かっていない状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・横向きに使用しない。衝突の際に充分性能が発揮できません。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。



# ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。  
(例:片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシート使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。  
**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**
- ・可動部に水やジュース、泥水、ゴミが入り操作ができない場合は使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外した状態や、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
- ・シートベルト、または、ISOFIXで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。



注意

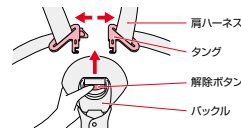
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。  
**本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。**
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルト、または、ISOFIXで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとペースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
- ・屋外に放置し、雨などにさらさない。
- ・タングホルダーを持って本装置を持ち上げない。破れるおそれがあります。

## 緊急時のお子さまの降ろしかた

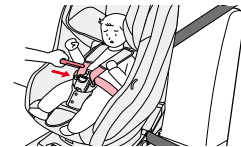
緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。

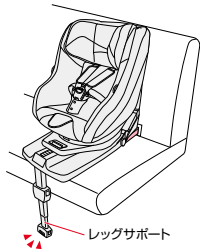


## 日常の点検

### ・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

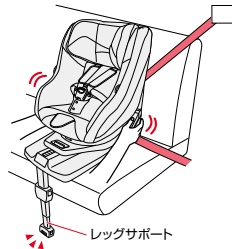
#### 〈ISOFIX使用〉



#### 〈取り付け後の確認〉(P42参照)

- ・シートバックカバーが装着されている。(後向きのみ)
- ・レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケーターが「緑色」になっている。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
- ・ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。(左右)
- ・座席の背もたれにベースが接している。
- ・左右のコネクターが同じ長さになっている。

#### 〈シートベルト使用〉



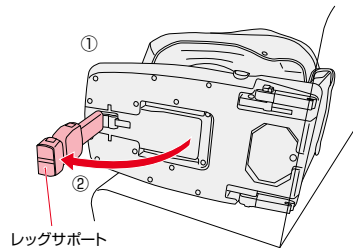
#### 〈取り付け後の確認〉(P52参照)

- ・車のシートベルトにゆるみ、たるみがない。(シワは問題ありません。)
- ・車の肩シートベルトがベルトガイドループを通っている。
- ・車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。
- ・ベース部を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が大きくずれない。
- ・バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。
- ・シートバックカバーが装着されている。(後向きのみ)
- ・ベルトロックレバーがロックされている。(P50参照)
- ・車の肩シートベルトがベルトロックで固定している。
- ・車の腰シートベルトが左右のベルトガイド、溝を通っている。
- ・レッグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レッグサポートインジケーターが「緑色」になっている。

## レッグサポートの使いかた

1

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②レッグサポートを起こす。
- ③レッグサポートが固定されていることを確認する。



警告

- ・水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・手、指などを挟まないように注意する。
- ・けがををするおそれがあります。

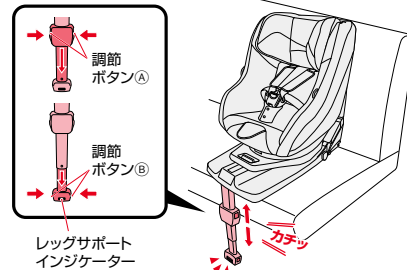
注意

- ・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。
- ・レッグサポートを収納するときは、長さを最も短い状態に調節してから収納してください。

2

- ①調節ボタン(A)を押して長さを調節する。車のフロアに接しない場合は(B)を押して長さを調節する。
- ②レッグサポートインジケーターが「赤色」から「緑色」になっていることを確認する。

・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



- ・レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。
- ・レッグサポートが車のフロアに接するとレッグサポートインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わります。

危険

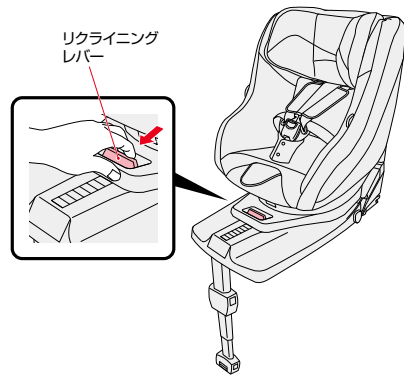
- ・レッグサポートインジケーターが「赤色」の状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

# リクライニングのしかた

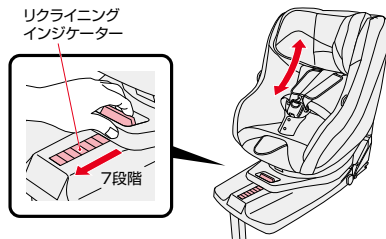
「後向き」、「前向き」使用時、お子さまの体重にかかわらず、7段階に角度を調節することができます。

製品を箱から取り出した際には、7段目にセットされています。必要に応じて角度を調節してください。

**1** リクライニングレバーを手前に引きながら、



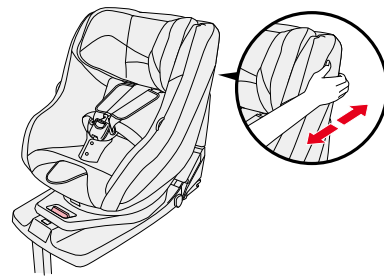
**2** シート部のリクライニング角度を調節する。(7段階)



**警告**

- ・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。
- ・水やジュース、泥水、ゴミなどが入りリクライニングができない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

**3** リクライニングレバーから手を離してシート部を前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



リクライニングレバーから手を離さないとロックされません。



・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。



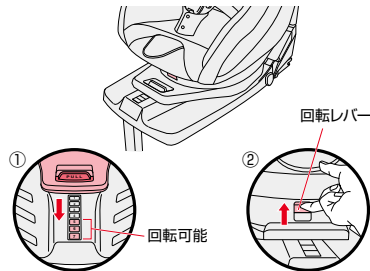
・操作後、リクライニングレバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



# シート部の回転のしかた

リクライニング5、6、7段目の角度の時、シート部を回転することができます。

- 1** ①リクライニング角度を5～7段目のいずれかにする。  
②回転レバーを押し上げながらシート部をまわす。



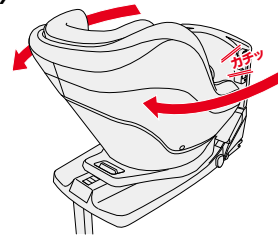
リクライニングが1～4段目の時は回転できません。



・水やジュース、泥水、ゴミなどが入り回転できない場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- 2** 動き始めたら回転レバーから手を離し、シート部が「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックされます。

〈後向き〉



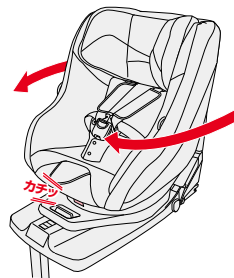
回転レバーを離さないとロックされません。



・回転操作時は、お子さまの手、指、足を近づけないよう注意すること。手や指などが挟まれ、けがをするおそれがあります。



〈前向き〉

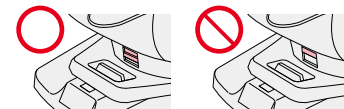


横向きではロックされません。

- 3** シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。



・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。  
・シート部を回転させるときに座っているお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。  
けがをするおそれがあります。



・長時間使用されない時や保管の時には、回転レバーが正しくロックされているか確認してください。  
故障の原因になります。

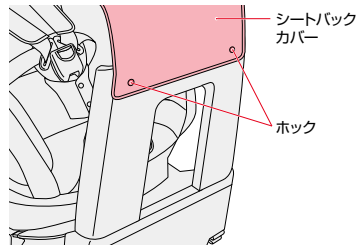
## シートバックカバーの使いかた

シートバックカバーを必ず使用し、お子さまの足を保護してください。

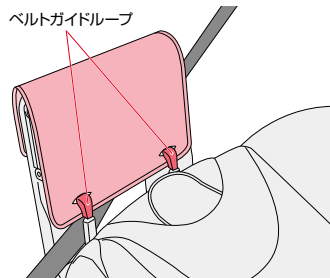
※製品を箱から出した際には、フックはとまっています。

### 1 <シートバックカバーの取り付け・取り外し>

①チャイルドシートを固定し、シートバックカバーフックをベース背面のフックにとめる。(左右)



②シートバックカバーをシートバックのベルトガイドループにとめる。(左右)  
取り外しは逆の手順で行ってください。



・シートバックカバーを外して使用しない。シートバックカバーを使用しない状態でベース部を素足で蹴ったり、こすったりしてけがをするおそれがあります。

## パッドの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

	ヘッドサポートクッション	ベビーサポートクッション	ヒップインナーシート	肩パッドカバー
○:必ず取り付けください。				
○:取り外し可能です。				
⊘:必ず取り外してください。				
体重2.5kg～7kg未満	○	○	○	○
体重7kg～10kg未満	⊘	⊘	○	○
体重10kg～18kgまで	⊘	⊘	⊘	○



衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- ・パッド類は本装置の専用品であるため、他の製品には使用しない。
- ・本装置のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
- ・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。



- ・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
- ・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。
- ・パッド類をなくさないよう注意してください。

- ・ヘッドサポートクッションの使いかた(P31参照)
- ・ベビーサポートクッションの使いかた(P32参照)
- ・ヒップインナーシートの使いかた(P32参照)
- ・肩パッドカバーの使いかた(P31参照)
- ・フレックスシェードの使いかた(P33～P35参照)
- ・お手入れのしかた(P63参照)

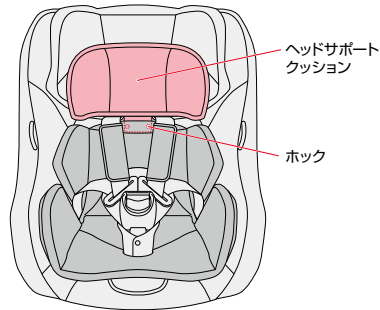


# パッドの使いかた

・パッド類の組み合わせは30ページを参照ください。

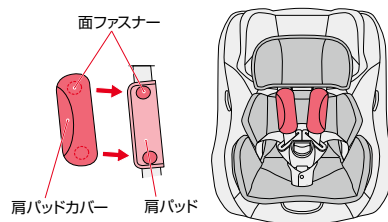
## 1 <ヘッドサポートクッションの取り付け・取り外し>

ヘッドサポートクッションのホックとベビーサポートクッションのホックとで取り付け、取り外しをする。



## 2 <肩パッドカバーの取り付け・取り外し>

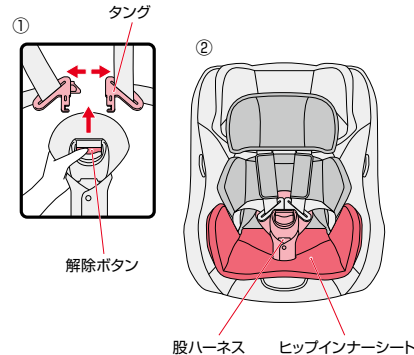
肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせて取り付け。取り付け後は肩パッドカバーを引っ張り確実に取り付けられていることを確認する。  
取り外しは逆の手順で行ってください。



・肩パッドが外れた状態で使用しない。

## 3 <ヒップインナーシートの取り付け・取り外し>

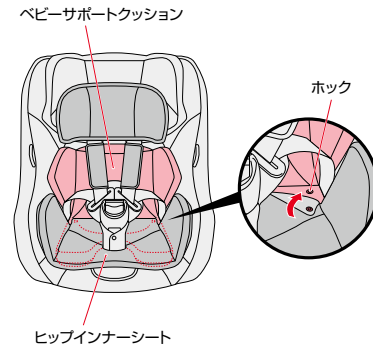
- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②股ハーネスを通し穴に通し、取り付け、取り外しをする。



## 4 <ベビーサポートクッションの取り付け・取り外し>

ベビーサポートクッションのホックとヒップインナーシートのホックとで取り付け、取り外しをする。

・ヒップインナーシートと併用する際は、先にヒップインナーシートを取り付けてください。



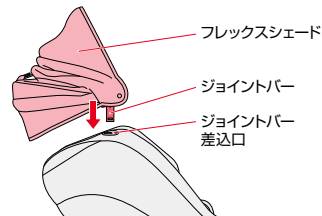
# フレックスシェードの使いかた

付属品としてフレックスシェード(日除け)が同梱されております。  
日差しなどを防ぎたい時に本製品に取り付けてお使いください。

1

## 〈フレックスシェードの取り付け〉

フレックスシェードのジョイントバーを本体のジョイントバー差込口に差し込む。(左右)



・取り外すときは、ジョイントバーを引き抜いてください。



・フレックスシェードのジョイントバーは左右共にしっかりロックされていることを確認する。衝突などの際にお子さまに当たるなどしてけがをするおそれがあります。



・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

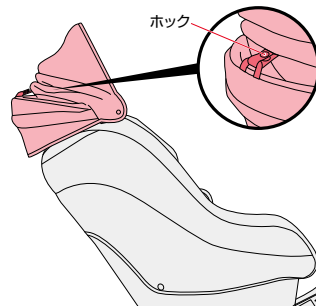
2

## 〈フレックスシェードの使いかた〉

### 後向き時の使いかた(3Way)

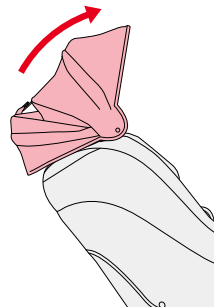
#### 〈1段目使用時〉

・メッシュ部がホックでとまっていることを確認する。



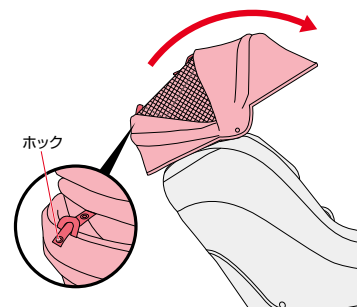
#### 〈2段目使用時〉

・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



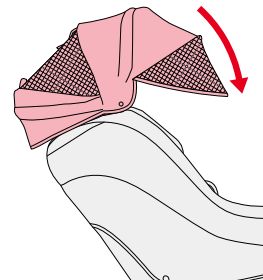
#### 〈3段目使用時〉

・メッシュ部のホックを外し、矢印の方向に開く。



#### 〈エキストラシェード(メッシュ)使用時〉

・エキストラシェード(メッシュ)を内側から矢印の方向に開く。

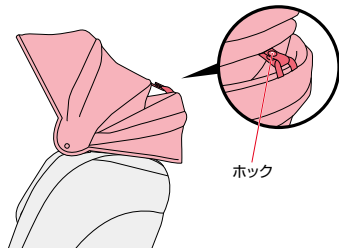


取り付ける前に

## フレックスシェードの使いかた

### 3 <フレックスシェードの使いかた> 前向き時の使いかた

- ・メッシュ部がホックでとまっていることを確認する。
- ・フレックスシェードが1段目で固定されていることを確認する。



・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。



警告

・メッシュ部をホックでとめず前向きで使用しない。衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。



・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。衝突などの際にお子さまがけがをするおそれがあります。



アドバイス

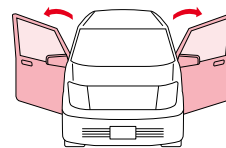
フレックスシェードが車の天井に当たる場合は使用しないでください。

## 取り付け準備(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)

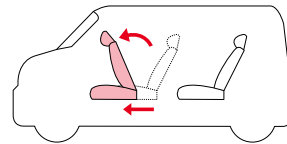
### 1

#### <取り付け作業のスペース確保>

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



- お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
- 本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。
- 車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P18を参照してください。



危険

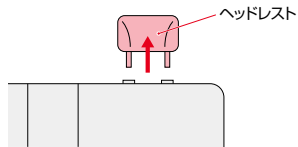
・フロントエアバッグを装備した座席に本装置を後向きに取り付けられない。  
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。  
・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。  
・補助座席、幼児専用座席には使用しない。  
・レッグサポートを収納した状態で取り付けない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 取り付け準備(シートベルト使用・ISOFIX使用 共通)

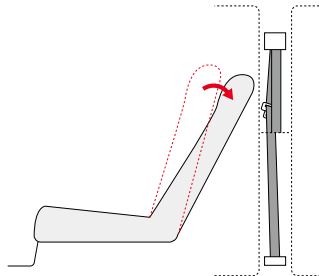
2

### 〈取り付ける座席の準備〉

- ・ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- ・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。



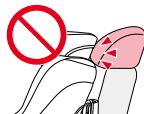
背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



警告

・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。

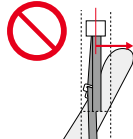
・車のヘッドレストがチャイルドシートに干渉した状態で取り付けない。チャイルドシートが確実に固定できなくなるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・取り外したヘッドレストを車内に保管しない。けがをするおそれがあります。

警告

・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 取り付けかた(ISOFIX使用)

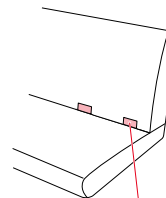
- ・本装置は、後向き、前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてシート部を回してご使用ください。
- ・本書では助手席側後部座席での取り付けかたを説明しています。運転席側では取り付けかたが左右逆になります。

・右のQRコードから取り付け確認動画をご覧いただけます。本書の補足としてご覧ください。

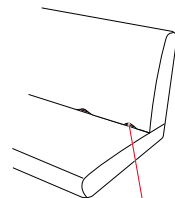


1

ISOFIXバーのカバーが装備されている場合は、カバーを外す。(左右)



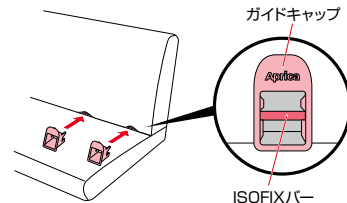
カバー



ISOFIXバー

2

ガイドキャップをISOFIXバーに差し込み、取り付ける。(左右)



ガイドキャップ

ISOFIXバー



・ISOFIXバーは車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のガイドキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによってはガイドキャップが取り付けられない場合があります。その場合は、ガイドキャップを使わずにチャイルドシートを取り付けてください。

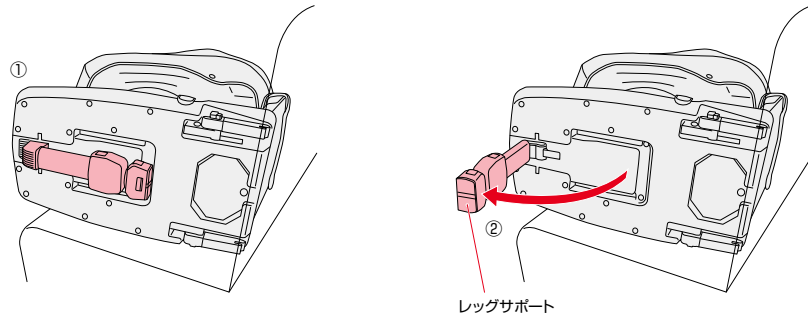
## 取り付けかた(ISOFIX使用)

### 3 <レッグサポートを起こす>

①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。

②レッグサポートを起こす。

③レッグサポートが固定されていることを確認する。



**警告**

・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

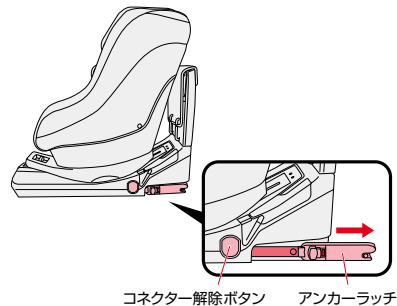


**注意**

・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

### 4

コネクター解除ボタン(左右のどちらか)を押しながら、アンカーラッチを最後まで後方に引き出す。



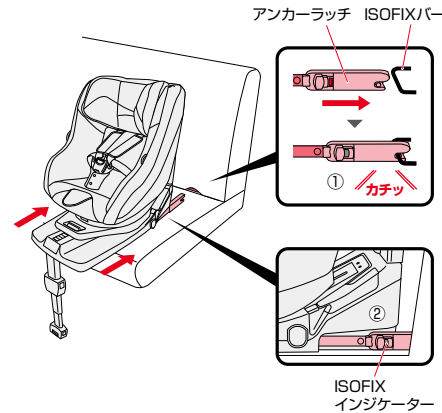
**注意**

・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。  
(別売のシート保護マットをご使用ください。)  
**座席の革をいためるおそれがあります。**



### 5

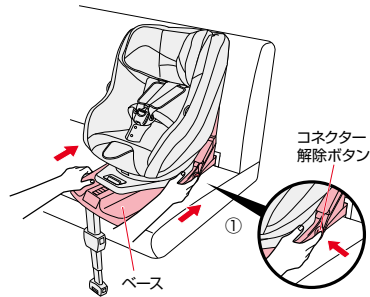
①左右のISOFIXバーに「カチッ」と音がするまで、ベース(アンカーラッチ)を押し込む。  
②左右のISOFIXインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。



## 取り付けかた(ISOFIX使用)

6

- ①左右どちらかのコネクター解除ボタンを押しながら車の座席の背もたれに接するまでベースを押しつける。
- ②コネクター解除ボタンから指を放し、解除ボタンが復帰していることを確認後にベースを手前に引き、動かないことを確認する。

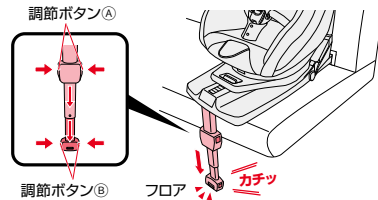


・チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合は座席のリクライニングを使用して隙間を無くすこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

7

レグサポートの調節ボタン④を押して長さを調節し、レグサポートインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。車のフロアに接しない場合は⑤を押して長さを調節する。

・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



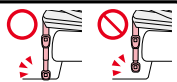
・レグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。



・レグサポートは前方へ引き出して接地させてください。

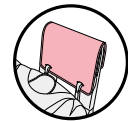


・レグサポートが車のフロアから離れていないこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 取り付け後の確認(ISOFIX使用)

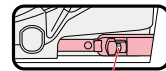
・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。  
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。



シートバックカバーが装着されている。

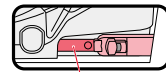
レグサポートが車のフロアにしっかり接していて、レグサポートインジケーターが「緑色」になっている。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P38～P41の手順で取り付け直してください。



ISOFIXインジケーター  
ISOFIXインジケーターが「緑色」になっている。(左右)

座席の背もたれにベースが接している。



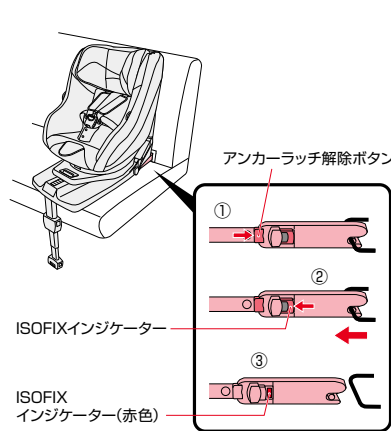
コネクター  
左右のコネクターが同じ長さになっている。

バックルに水やジュース、泥水、ごみが入っていないことを確認する。

## 車からの取り外しかた(ISOFIX使用)

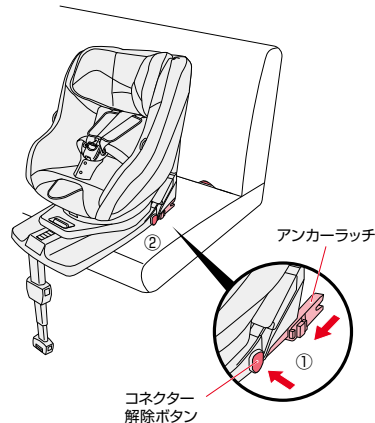
1

- ①左右のアンカーラッチ解除ボタンを押しながら、
- ②左右のISOFIXインジケータを押込み、ベースをまっすぐ手前に引き、解除する。
- ③左右のISOFIXインジケータが「緑色」から「赤色」になったことを確認する。



2

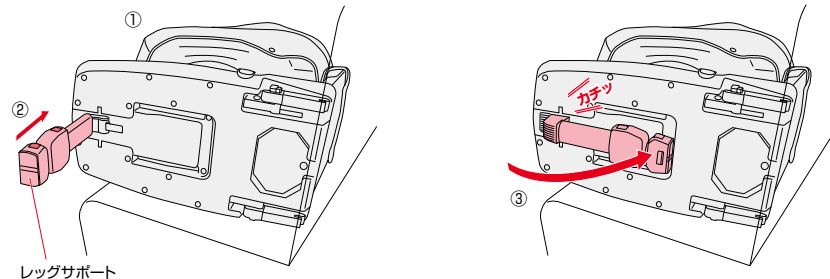
- ①左右どちらかのコネクター解除ボタンを押しながら左右のアンカーラッチを収納する。
- ②コネクター解除ボタンから指を放し、解除ボタンが復帰しアンカーラッチが動かないことを確認する。



3

### 〈レッグサポートを収納する〉

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②レッグサポートの長さを短くする。
- ③レッグサポートを「カチッ」と音がするまで折りたたみ、ロックされたことを確認する。



**警告**

- ・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**
- ・本装置を移動する際には、レッグサポートで手、指などは挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

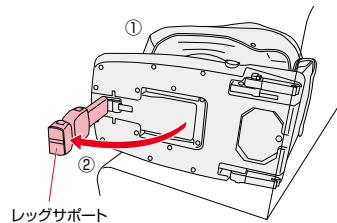
**注意**

- ・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

# 取り付けかた(シートベルト使用)

## 1 <レッグサポートを起こす>

- ①作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ②レッグサポートを起こす。
- ③レッグサポートが固定されていることを確認する。



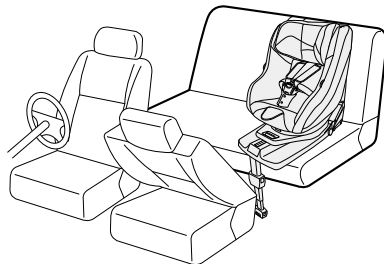
・レッグサポート操作時は、手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**



・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。  
・レッグサポートを収納するときは、長さを最も短い状態に調節してから収納してください。

## 2 <チャイルドシートをのせる>

チャイルドシートを車の後部座席にのせる。



お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。



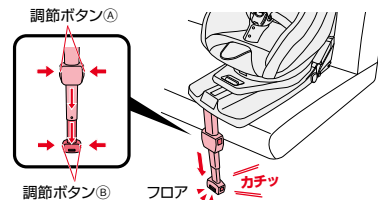
・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。  
(別売のシート保護マットをご使用ください。)  
**座席の革をいためるおそれがあります。**



## 3

レッグサポートの調節ボタン①を押して長さを調節し、レッグサポートインジケーターが「赤色」から「緑色」に変わったことを確認する。車のフロアに接しない場合は②を押して長さを調節する。

・出荷時は最も短い状態の長さになっています。



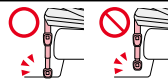
・レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。



・レッグサポートは前方へ引き出して接地させてください。



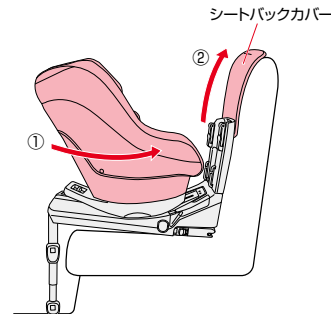
・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 4

### <後向きにする>

- ①シート部を回転させ、後向きにする。(P27参照)
- ②シートバックカバーをめくり上げる。

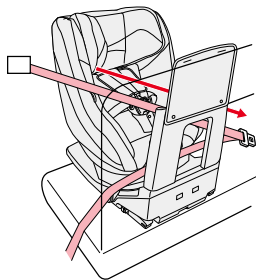


・回転操作時は、お子さまの手、指、足を近づけないよう注意する。**手や指などが挟まれ、けがをすることがあります。**  
・回転後、回転レバーが戻り、シート部が固定されていること。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 取り付けかた(シートベルト使用)

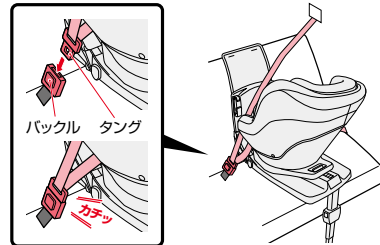
### 5 <車のシートベルトを取り付ける> シートベルトを引き出す。



シートベルトを全て引き出した状態で、市販のクリップなどで仮どめすることでシートベルトの巻き取りを防止すると、作業がしやすくなります。

・ALR/ELR(チャイルドロック機構付)のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。(P17参照)

### 6 シートベルトのタングをバックルに差し込む。



**危険**

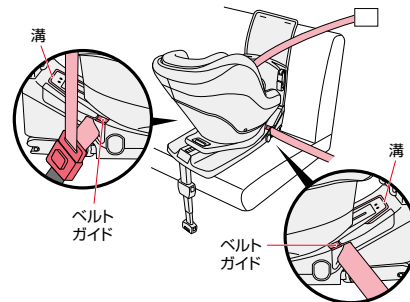
・バックルの長さがベルトガイド位置より長い座席には本装置を取り付けられない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**



**警告**

・シートベルトがねじれた状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

### 7 <腰シートベルトを通す> 腰シートベルトを左右のベルトガイドと座面下側の溝に通す。



**危険**

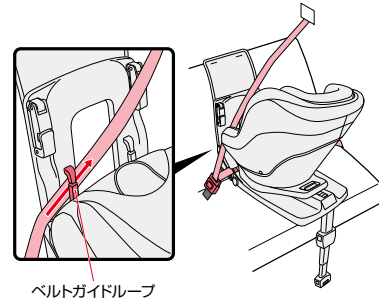
・腰シートベルトがたるんだ状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**



**警告**

・腰シートベルトがねじれた状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**  
・お子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。**シートベルトを通す溝でお子さまの指や手足を挟むおそれがあります。**

### 8 <肩シートベルトを通す> 肩シートベルトをベルトガイドループに通す。



**危険**

・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**



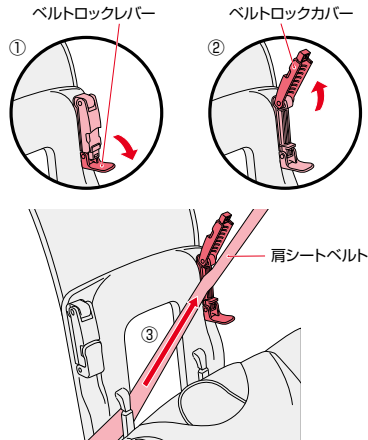
**警告**

・肩シートベルトがねじれた状態で使用しない。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

## 取り付けかた(シートベルト使用)

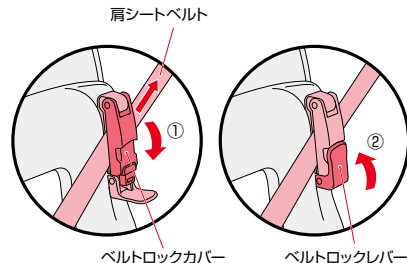
### 9 <ベルトロックを開き、肩シートベルトを通す>

- ①ベルトロックレバーを開く。
- ②ベルトロックカバーを開く。
- ③肩シートベルトを通す。



### 10 <ベルトロックを閉じる>

- ①肩シートベルトを引いたまま、ベルトロックカバーを閉じる。
- ②ベルトロックレバーを閉じ、しっかりロックされていることを確認する。

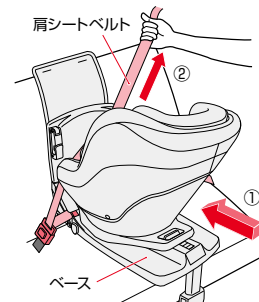


・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



### 11 <肩シートベルトをしめつける>

- ①ベースを座席の背もたれに押しつける。
- ②ベースを押したまま肩シートベルトを強く引く。



**危険**

・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

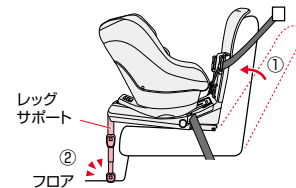


**警告**

・肩シートベルトがねじれた状態で使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

### 12 <座席の背もたれを起こす>

- ①座席の背もたれをベースに強く当たるまで起こす。(リクライニングが可能な車の場合)
- ②レッグサポートが車のフロアにしっかり接していることを確認する。



・車の座席がリクライニングできない場合は、ベースと座席の背もたれが接していること。



**危険**

・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



**警告**

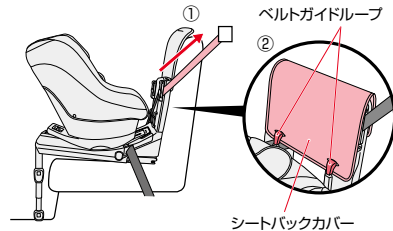
・チャイルドシートと座席の背もたれに隙間が生じる場合は座席のリクライニングを使用して隙間を無くすこと。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

## 取り付けかた(シートベルト使用)

13

### 〈肩シートベルトを巻き取る〉

- ①余分な肩シートベルトを巻き取る。
- ②シートバックカバーをおろし、ベルトガイドループにとめる。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。(P52参照)

警告

・「後向き」使用時は、必ずシートバックカバーを使用すること。シートバックカバーを使用しない状態でベース部を素足で蹴ったり、こすったりしてけがをするおそれがあります。

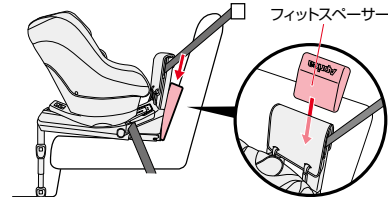


14

### 〈フィットスペーサーを取り付ける〉

背もたれがリクライニングしない場合で、次の⑤、⑥に該当する時は、フィットスペーサーを取り付けてください。

- ⑤取り付け後、本装置と座席の背もたれに隙間が生じる場合。
- ⑥取り付け後、ベース部を両手で持ち前後左右に動かしてベース部分が3cm以上動く場合。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。(P52参照)

警告

・ベース奥部を両手で持ち前後左右に動かしてベース部分が3cm以上動く場合は本製品を使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



## 取り付け後の確認(シートベルト使用)

・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。  
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

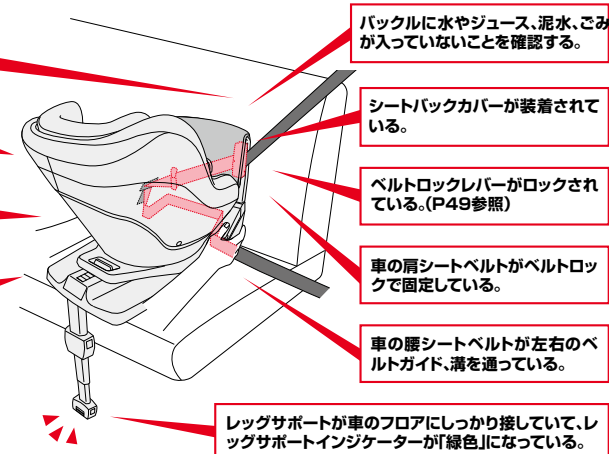
車のシートベルトにゆるみ、たるみがない。(シワは問題ありません。)

車の肩シートベルトがベルトガイドループを通っている。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれている。

ベース部を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が大きくずれない。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P45～P51の手順で取り付け直してください。

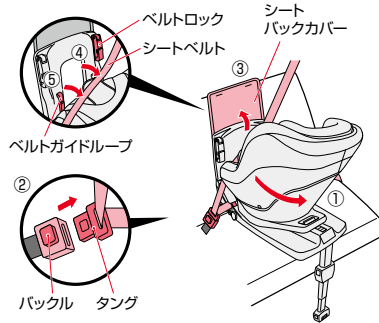


車への取り付け

## 車からの取り外しかた(シートベルト使用)

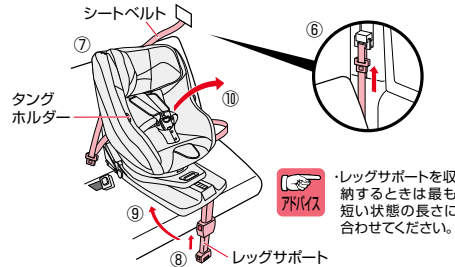
1

- ① 本体を後向きに回転させる。
- ② 車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
- ③ シートバックカバーをベルトガイドループから外す。
- ④ ベルトロックを解除し、シートベルトを外し、ベルトロックを閉じる。
- ⑤ 車のシートベルトをベルトガイドループから外す。



2

- ⑥ 車のシートベルトを巻き取る。
- ⑦ 本体を前向きに回転させる。
- ⑧ レッグサポートを一番短くする。
- ⑨ レッグサポートを「カチッ」と音がするまで折りたたみ、ロックされたことを確認する。
- ⑩ チャイルドシートを車の座席から降ろす。



・レッグサポートの収納方法(P44参照)



**警告**

・本装置を移動する際には、レッグサポートで手、指などを挟まないように注意する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**



**注意**

・タングホルダーを持って本装置を持ち上げない。破れるおそれがあります。

## 肩ハーネス位置の目安

・各ポジションにより、使用する肩ハーネスの位置が異なります。

※製品を箱から取り出した際には、1番下にセットされています。お子さまの体格にあわせて、正しい肩ハーネスの位置に調節してください。

後向き  
使用時

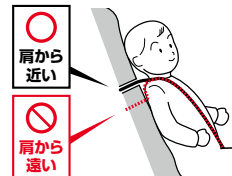
体重2.5kg～7kg未満

参考年齢:新生児～4カ月頃まで  
参考身長:50～60cm

体重7kg～13kg未満

参考年齢:4カ月頃～1歳6カ月頃まで  
参考身長:60～80cm

・肩に近い位置に肩ハーネスの高さを調節する。

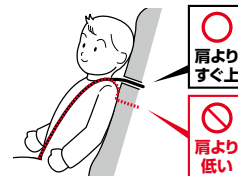


前向き  
使用時

体重9kg～18kgまで

参考年齢:1歳頃～4歳頃まで  
参考身長:70～100cm

・肩よりすぐ上の位置に肩ハーネスの高さを調節する。



**危険**

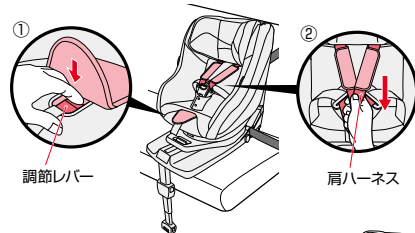
・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

## 肩ハーネスの位置調節のしかた

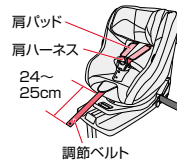
・肩ハーネスの位置は、らくらくフィットアジャスターで7段階に調節します。

### 1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



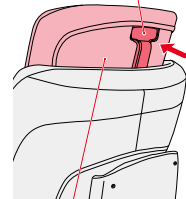
・肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。  
・肩ハーネスは調節ベルトが24～25cmくらい残るまで引き出せます。(らくらくフィットアジャスター1段階目時)



### 2 〈肩ハーネスの高さを調節する〉

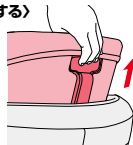
- ①らくらくフィットアジャスター調節レバーを押し込み、高さを調節する。(7段階)
- ②適切な位置(P54参照)でレバーから指を離し、らくらくフィットアジャスターを上下に動かして固定されていることを確認する。

らくらくフィット  
アジャスター調節レバー

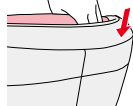


らくらくフィットアジャスター

〈高くする〉



〈低くする〉

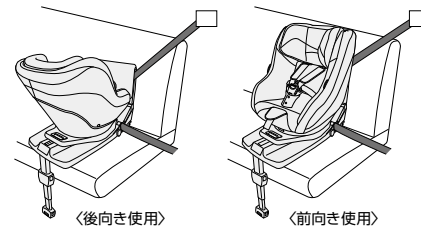


## お子さまの乗せかた

### 1

〈後向き・前向きに回転させる〉

お子さまの体重にあわせて、シート部を後向き、または前向きに回転させる。



・お子さまの体重が9kgを超えるまでは後向きで使用する。**思わぬ重傷を負う可能性があります。**

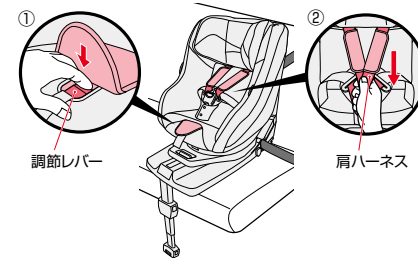


・日差しにより、本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

### 2

〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押す。
- ②調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



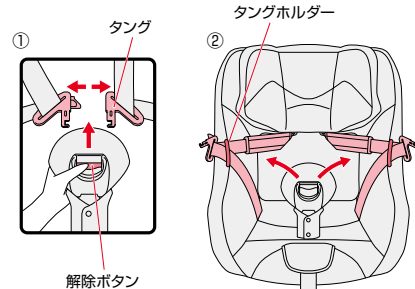
肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

# お子さまの乗せかた

3

## 〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。



4

## 〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座席に深く座らせ、お子さまのお尻が股ハーネスに乗っていないことを確認する。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。
- ③お子さまの体格にあわせて、正しい肩ハーネスの位置に調節する。(P54～P55参照)



警告

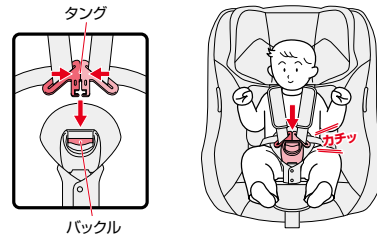
・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。  
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



5

## 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



アドバイス

タングがバックルに届きにくい場合は、車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。



危険

・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



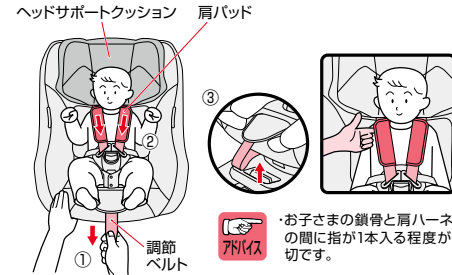
警告

・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないように注意する。けがをするおそれがあります。  
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミが入った場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

6

## 〈肩ハーネスを短く調節する〉

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②左右の肩パッドをヘッドサポートクッションの手前に引き出し、お子さまの首に当たる位置に調節する。
- ③調節ベルトの先端のホックをシート裏のホックにとめる。



アドバイス

・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



警告

・肩ハーネスが肩にかかっていない状態で使用しない。  
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、ゆるんだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

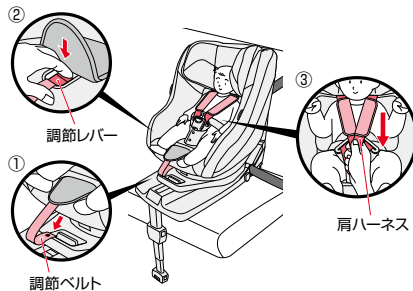


## お子さまの降ろしかた

1

### 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節ベルトのホックを外す。
- ②調節レバーを押す。
- ③調節レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。  
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)

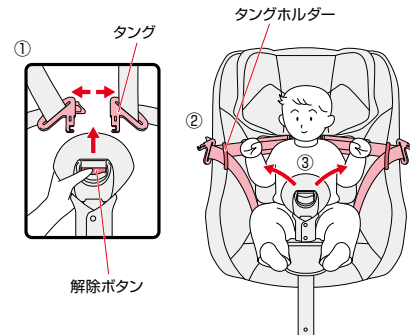


肩ハーネスをゆるめる際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

2

### 〈お子さまを降ろす〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引っかける。
- ③お子さまを降ろす。

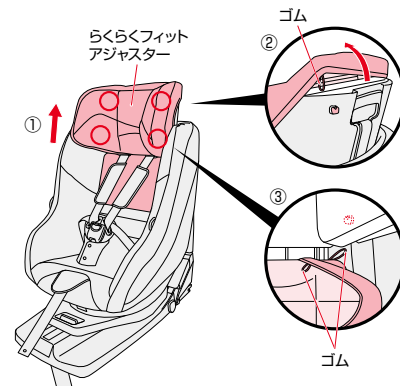


## シートカバーの取り外しかた

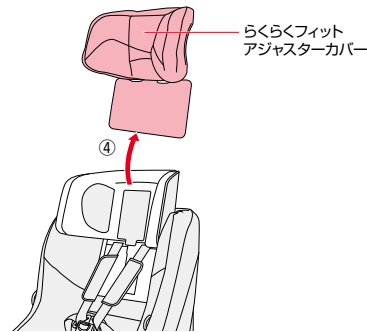
1

### 〈らくらくフィットアジャスターカバーを取り外す〉

- ①らくらくフィットアジャスターを最上段まで上げる。
- ②らくらくフィットアジャスター背面のゴム(2カ所)を外す。



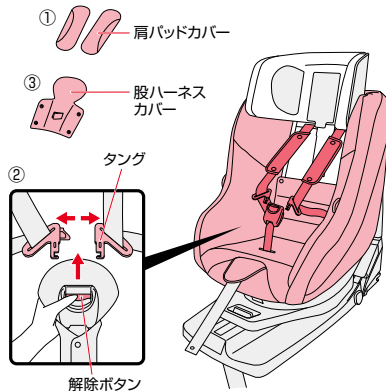
- ③らくらくフィットアジャスター下部のゴム(4カ所)を外す。
- ④らくらくフィットアジャスターカバーを取り外す。



## シートカバーの取り外しかた

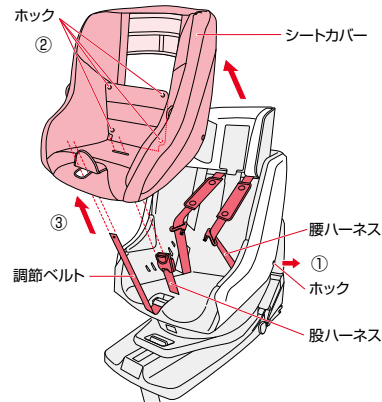
### 2 <肩パッドカバー・股ハーネスカバーを取り外す>

- ①肩パッドの面ファスナーを外し、肩パッドカバーを取り外す。(P31参照)
- ②バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ③股ハーネスカバーのホック(2カ所)と面ファスナーを外し、股ハーネスカバーを取り外す。



### 3 <シートカバーを取り外す>

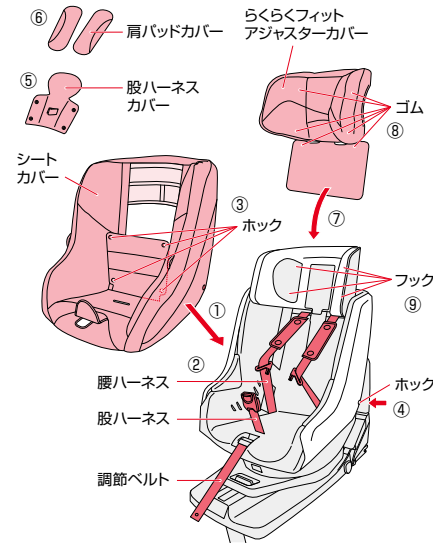
- ①シート部横側のホックを外す。(左右)
- ②背もたれ部のホックを外す。(4カ所)
- ③腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを抜き取り、シートカバーを取り外す。



## シートカバーの取り付けかた

### 1 <シートカバーを取り付ける>

- ①シートカバーを本体にかぶせる。
- ②腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを通し穴に通す。
- ③背もたれ部のホックをとめる。(4カ所)
- ④シート部横側のホックをとめる。(左右)



### 2 <肩パッドカバー・股ハーネスカバーを取り付ける>

- ⑤股ハーネスカバーの面ファスナーを股ハーネスに巻き付け、ホック(2カ所)をとめる。
- ⑥肩パッドカバーと肩パッドそれぞれの面ファスナー(2カ所)を合わせ取り付け。(P31参照)

### 3 <らくらくフィットアジャスターカバーを取り付ける>

- ⑦らくらくフィットアジャスターカバーをかぶせる。
- ⑧らくらくフィットアジャスター下部のゴム(4カ所)をフックにとめる。
- ⑨らくらくフィットアジャスター背面のゴム(2カ所)をフックにとめる。

・取り付け後、リクライニング操作をしてもシートカバーやクッションの浮きが無いことを確認してください。



・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。  
・シートカバーを取り外した状態で使用しない。



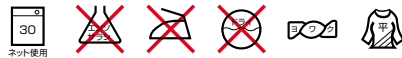
## お手入れ／保管／廃棄のしかた

### 〈シートカバー、股ハーネスカバー、シートバックカバー、肩パッドカバー、ヒップインナーシートの洗濯〉



### 〈らくらくフィットアジャスターカバー、ヘッドサポートクッションカバーの洗濯〉（芯材を取り外してください。）

※ネット使用にて洗濯機洗い可能です。



・他のものと一緒に洗濯しないでください。  
色移り（移染）のおそれがあります。  
・ベビーサポートクッション、肩パッド、フレックスシェードは洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。

### 〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつかまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って十分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ・ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。



・本装置やパッド類、付属部品は洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しないでください。変色、変形、劣化のおそれがあります。

### 〈保管するときは〉

- ・本装置を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさないでください。  
劣化などにより、十分な性能を発揮できないおそれがあります。

### 〈廃棄するときは〉

- ・事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本装置に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示に従い処分、廃棄してください。

## 取り付け可能車種一覧表

- ・他の車両のシート位置でも本装置を装着するのに適したものが 있습니다。疑問があるときは、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- ・アプリカホームページ[<http://www.Aprica.jp/>]で最新版がご覧になれます。



メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	取り付け	
					ISOFIX	シートベルト
トヨタ	アクア	'11 / '12～	NHP10	後部サイド	◎	◎
トヨタ	プリウス	'09 / '5～	ZVW30、35	後部サイド	◎	◎
ホンダ	NBOX、NONE、NBOX+、N-WGN	'11 / '12～	JF1～2、JH1～2、JG1～2	後部サイド	◎	◎
ホンダ	フィット	'13 / '9～	GK3、4、5、6、GP5	後部サイド	◎	◎
ダイハツ	ムーヴ	'14 / '12～	LA150	後部サイド	◎	◎
ダイハツ	タント	'13 / '10～	LA600S、LA610S	後部サイド	◎	◎
ダイハツ	ミライース	'11 / '9～	LA300S、LA310S	後部サイド	◎	◎
スズキ	ワゴンR	'12 / '7～	MH34S、44S	後部サイド	◎	◎

◎：取り付けできます

困ったときにはく解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。く

くご使用前に困ったときく

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P68「アフターサービスについての連絡先」参照)
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	参 照 P 6 4 「 取 り 付 け 可 能 車 種 一 覧 表 」 または、インターネットのアプリカホームページ [http://www.Aprica.jp/]や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席(3列シートの車両の場合は2列目以降の座席)への取り付けをお奨めします。(P11「座席の条件」、P17「シートベルトの条件」参照)
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。(P9「お子さまの条件」参照)

く車への取り付けで困ったときく

お気づきの点	対 処 方 法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 (P47「取り付けかた(シートベルト使用)」参照)
	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 (P53「車からの取り外しかた」参照)
チャイルドシートを本書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認ください。もう一度初めから取り付け直してください。 (P36「取り付け準備」参照)
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P68「アフターサービスについての連絡先」参照)
アンカーラッチが引き出せない。	左右のコネクター解除ボタンの片側だけ押し、アンカーラッチを最後まで引き出してください。 (P40「取り付けかた(ISOFIX使用)」参照)
車のシートのISOFIXバーにうまく差し込むことができない。	付属のガイドキャップを使い、もう一度初めから取り付け直してください。 (P38「取り付けかた(ISOFIX使用)」参照)

くお子さまの乗せかたで困ったときく

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してバックルにタングが差し込めない。	らくらくフィットアジャスターの位置を確認してください。(P54「肩ハーネス位置の目安」参照)
	車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。 (P58「お子さまの乗せかた」参照)
チャイルドシートのバックル操作ができない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 (P58「お子さまの乗せかた」参照) 問題が解決しない場合は、弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 (P68「アフターサービスについての連絡先」参照)
バックルにジュースやゴミなどが入ってタングが差し込めない。	弊社お客様サポートセンター(0120-415-814)までお問い合わせください。 (P68「アフターサービスについての連絡先」参照)

く操作時に困ったときく

お気づきの点	対 処 方 法
シート部が回転しない。	リクライニング1、2、3、4段目では回転できません。リクライニング位置を5、6、7段目に合わせてください。 (P27「回転のしかた」参照)
ヘッドサポートクッションの使用期間がわからない。	ベビーサポートクッションとヘッドサポートクッションは体重7kgまでご使用いただけます。 参照 P30「パッドの使いかた」参照)
リクライニング操作ができない。	リクライニングレバーを手前に引きながらシート部のリクライニング角度を調節してください。 参照 P25「リクライニングのしかた」参照)
	リクライニング部にゴミなどがはさまっていないかを確認してください。

## 〈保証期間とアフターサービス〉

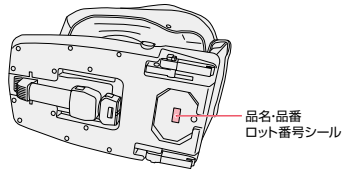
### ・アフターサービスについて

ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中（**お買い上げ日より1年間です。**）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します  
ただし、お預かりした製品を確認した結果、弊社にて修理ができないと判断した場合は製品交換とさせていただきます。

・ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（**修理箇所の保証期間は1カ月です。**）  
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。  
（**部品の保有期間は、製造中止後3年間です。**）

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、  
**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



## アフターサービスについての連絡先

### アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10:00～PM5:00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート  
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....